

ふるさと 通信員だより

vol.130




私が町内の身近な
話題を紹介します♪

たかだ てつこ
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



音更認定こども園(白木幸久園長、園児209人)で保育参観と試食会が開かれました。試食会では、子ども達がいとも食べている給食が提供されました。この日のメニューは、減農薬胚芽米のご飯、芋と豆腐のみそ汁にキャベツと鶏胸の酢和え、サバのゴマ焼きにバナナです。同園管理栄養士の尾井菜々花さんが、園児たちがお米をとき、各教室の炊飯器で毎回炊きたてのご飯を食べていることなどこだわりを説明してくれました。愛情いっぱいの手作り給食に河口利子さん(67)は「食器もこだわり優しい味でおいしかったです。」と関心していました。

 **炊きたてご飯**
おいしいね



東士幌老人クラブ喜楽会(安田喜久男会長、会員148人)の介護予防音楽教室が、東士幌コミュニティ消防センターで開催されました。帯広大谷短大卒業でフィットネス・リハーサルの指導の下、同短大介護福祉専攻2年生の6人が活動をサポートしました。音楽に合わせてリズムを取り、同時に心と体と頭を使って、コンガやカホンなど16種類の打楽器を演奏しました。安田孝子さん(73)は「心も体も最高!」と力いっぱいジャンベをたたいていました。最後は成瀬さんのジャンベのソロ演奏を皆さんうっとりしながら聞いていました。

 **心も体もスツキリ**